

関係者各位

学校法人野澤学園

### 工事のお知らせ

そろそろ春の訪れを感じ始める頃でしょうか。  
以前より計画を進めています、保育部併設の件にてお伝えいたします。

幼稚園でも、幼児教育時間のみという環境では、社会的背景に対し十分に答えきれず、預かり保育という保育事業を行うところも増えました。当園におきましても、保育と教育の双方の機能を混同することなく高めたいとの狙いにて、認定こども園として、教育と保育の分業と効果的な連携を目指しています。

現在開催中の通常国会にて、「子ども・子育て支援法案」(仮称)の立法化が進められていますが、幼と保の役割を見失い混同されるような形にだけはなってほしくないと切に願うと共に、独自のより良き環境を目指そうと、引き締まる思いでもあります。

#### 「教育と保育の、より一層の分離と役割分担」・・・

そこで、幼保一体化法制度対策とともに、可能な限り理想的な環境を整えたいと、保育部の併設計画を進めてきました。発想は一体ではなく「連携」。幼児教育も保育も、各々大切な役割を果たしています。しかしながら、保護者のニーズも違えば、指針にも違いがあります。目的の異なる教育と保育を混同する事なく長所を利用し合うことで、互いの機能を高めることを目指しています。



・・・「次世代を担う子どもたち。心身ともにのびのび健康に」

連携の実現により、幼稚園児も保育棟にある様々な施設やカリキュラムを利用できるなど、幼稚園児にとっての環境向上にも広がり可能性があります。また、保育部に配属される看護室や看護師の相互利用など、細かな部分で省庁の壁は未だありますが、より良き環境の構築へ前進するかと思います。

さらには、未だ深刻である待機児問題に対し、駅前や分園など続々と整備されつつある保育所整備の現状において、幼稚園の隣に保育所が設置されることで、既存の園施設を活用でき、充実した環境下にて、のびのび過ごせる子ども達も増えます。また、保育所子ども達への幼児教育の普及も容易となるなど、「多くの子ども達に就学前教育を」との願いをもって取り組むことも、幼稚園としての重要な役割ではないか？そのような狙いもあるものです。



### ・・・ 主な内容 ...

長らく進めてきた、市や都との計画により、春休みに合わせ、工事が始まることになりました。

- 工事のほぼ多くは、幼稚園敷地の外、隣接する畑にて行われます。
- 24 年度途中、学園正門が駐車場の奥(烏小屋のあたり)に移動する予定です。一部、幼稚園敷地にもかかりますが、夏休みを利用したり、明確な区分をするなど工夫し、園生活に支障の無いよう配慮します。

※関係者の皆様にとって、ご不便の無く有意義な環境整備ができるよう、適宜計画を見直しつつ、安全には十分配慮行っていますので、ご理解とご協力よろしくお願い致します。



現在の正門